

2014年1月22日

報道関係各位

ジェットスター・ジャパン株式会社

## ジェットスター・ジャパン、2014年夏期運航スケジュールを発表 国内 LCC として 1 日最大 76 便を運航

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:鈴木みゆき、以下:ジェットスター・ジャパン)は、本日、2014年夏期運航スケジュールを下記の通り発表いたしました。なお、昨年12月19日に先行発表しましたスケジュールに対して、一部発着時間の変更がございます。詳細については、ホームページの[時刻表](#)をご覧ください。

記

### 2014年夏期運航スケジュール

期間:2014年3月30日~2014年10月25日

路線	2013年冬期運航スケジュール (2014/3/29まで)	2014年夏期運航スケジュール (2014/3/30から2014/10/25)
成田=新千歳	最大6便/日(往復)	最大6便/日(往復)
成田=関西	最大4便/日(往復)	最大5便/日(往復)
成田=高松	最大2便/日(往復)	最大2便/日(往復)
成田=松山	最大3便/日(往復)	最大3便/日(往復)
成田=福岡	最大5便/日(往復)	最大5便/日(往復)
成田=大分	最大3便/日(往復)	最大2便/日(往復)
成田=鹿児島	最大2便/日(往復)	最大2便/日(往復)
成田=那覇	最大4便/日(往復)	最大3便/日(往復)
中部=新千歳	最大2便/日(往復)	最大2便/日(往復)
中部=福岡	最大2便/日(往復)	最大2便/日(往復)
中部=鹿児島	最大2便/日(往復)	最大2便/日(往復)
関西=新千歳	最大1便/日(往復)	最大2便/日(往復)
関西=福岡	最大1便/日(往復)	最大1便/日(往復)
関西=那覇	最大1便/日(往復)	最大1便/日(往復)
合計	最大36便/日(往復)	最大38便/日(往復)

※上記スケジュールは、関係当局からの認可を前提としています。

※合計便数は、期間中における1日の最大運航便数(往復)を記載しています。

## 2014 年夏期運航スケジュールにおける一部変更

昨年 12 月 19 日発表の夏期運航スケジュールから、運航時間が一部変更となっています。

便名	路線	変更前	変更後	
GK308	那覇⇒成田	1845 発 2115 着	1900 発 2130 着	15 分遅発
GK601	成田⇒大分	0910 発 1100 着	0830 発 1020 着	40 分早発
GK600	大分⇒成田	1130 発 1310 着	1050 発 1230 着	40 分早発
GK203	成田⇒関西	0920 発 1045 着	1000 発 1125 着	40 分遅発
GK202	関西⇒成田	1115 発 1240 着	1205 発 1330 着	50 分遅発
GK512	福岡⇒成田	1800 発 1950 着	1755 発 1945 着	5 分早発

### <ご参考> 届出運賃表(2014/3/30～10/25 搭乗分)

※運賃設定には期間により 2 通りございますので、[ホームページ](#)にてご確認ください。

運航路線	運賃(片道)
成田＝新千歳	5,590 円～29,990 円
成田＝関西	4,990 円～24,990 円
成田＝高松	4,990 円～27,390 円
成田＝松山	5,090 円～27,490 円
成田＝福岡	6,490 円～29,990 円
成田＝大分	5,790 円～30,290 円
成田＝鹿児島	5,990 円～30,490 円
成田＝那覇	6,590 円～32,990 円
中部＝新千歳	5,890 円～30,490 円*
中部＝福岡	4,990 円～24,990 円*
中部＝鹿児島	5,490 円～25,490 円*
関西＝新千歳	5,490 円～29,990 円
関西＝福岡	4,390 円～21,990 円
関西＝那覇	5,490 円～29,990 円

エコノミークラス「Starter」の片道運賃。支払手数料が別途必要です。受託手荷物は含まれません。諸条件が適用されます。

\* 中部路線便におきましては、旅客施設使用料が別途必要となります。

大人(12歳以上):310円(3月中の搭乗分は300円) 子供(2歳～11歳):150円 座席を利用しない幼児(2歳未満)は無料です。座席を利用する場合は子供料金が適用となります。

\* 3月31日までの購入分に適用となります。

### <セール情報>

明日1月23日(木)、国内全路線 夏期運航スケジュール販売開始に合わせて、特別セールを実施する予定です。詳しくは明日配信予定の JetMail、またはホームページをご覧ください。

※本リリースは、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、成田空港記者会・民放クラブ、関西国際空港記者会、中部国際空港記者会、番町記者クラブ、高松県政記者会、大分県政記者クラブ、鹿児島県政記者クラブに配布しています。

### ジェットスターグループについて

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の路線網を誇り、最も急速に成長している LCC で、オーストラリア、ニュージーランド(カンタスグループの子会社) のジェットスター航空、シンガポールのジェットスター・アジア航空、ベトナムのジェットスター・パシフィック航空、日本のジェットスター・ジャパン、そして香港のジェットスター香港(関係当局の承認を前提とする)から構成されています。ジェットスターグループ全体で、アジアの30都市及び中国の8都市を含むアジア太平洋地域の60都市以上に週4,000便以上を運航しています。2013年会計年度には、ジェットスターグループ全体で2,300万人超のお客様にご利用頂きました。

### ジェットスター・ジャパン株式会社について

ジェットスター・ジャパンは2012年7月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄に就航したLCCであり、2013年からは名古屋(3月)、大分(3月)、鹿児島(5月)、松山(6月)、高松(12月)にも就航しています。現在、エアバス社A320型新造機18機(180席/機)で14路線、1日最大72便運航しており、今後24機まで増強する予定です。ジェットスター・ジャパンには、豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。